

令和 7 年度 学校の部活動にかかる活動方針

大阪市立横堤中学校

校長 杉山 邦彦

1 部活動の取組方針

本校では、「大阪市部活動指針～プレイヤーズファースト～」に沿った運営を進めてまいります。また、「大阪市立横堤中学校部活動 8 カ条」に記された指導方針に基づいて指導を行い、達成感や連帯感、向上心、思いやりの心等を育むことができるように、教職員の組織的な指導体制を構築いたします。

大阪市立横堤中学校部活動 8 カ条

- 1 横堤中学校の生徒として自覚を持つ。
- 2 感謝の気持ちを忘れず、誰からも応援され好感のもてる部活動をつくる。
- 3 元気なあいさつと丁寧な言葉遣いを心がける。
- 4 時間を大切にし、余裕をもった行動を心がける。
- 5 部の一員としての自覚を持ち、ルールやマナーを守る。
- 6 物を大切にし、整理整頓を心がける。
- 7 何事にも積極的に取り組み、向上心を持って部活動に励む。
- 8 思いやりの気持ちを持ち、仲間と協力して信頼できる関係をつくる。

活動計画について

- 1 年度当初に学校としての活動方針について、お子様を通じて保護者の皆さまにお配りし、ホームページに掲載いたします。
- 2 毎月の活動計画については、前月中の早いうちにお子様を通じて保護者の皆さまに周知いたします。
- 3 大阪市部活動指針にのっとり適切な休養日等を設定し、運動・食事・休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるように配慮します。
- 4 活動実績・成果については、本校ホームページ等を利用して積極的に公開・発信します。

活動内容について

- 1 生徒の健康状態や身体的な成長過程に配慮し、安全を最優先した指導を行います。事故や怪我の予防はもとより、夏期の熱中症対策や冬期の感染症対策等にも十分に注意を払って指導します。
- 2 練習の質に重点をおき、競技種目の特性等を踏まえ、科学的な根拠に基づいた、合理的な指導を行うように努めます。
- 3 技術指導以外にも、思いやりや規律ある態度、ルール・マナー等の指導を徹底します。
- 4 家庭や地域、小学校とも連携した活動内容を取り入れ、生徒の社会性や自主性を育てます。

指導者としての心得

- 1 プレーヤーズファーストの理念をもとにした運営や指導を行います。また、ミーティング等の機会を利用し、練習の目的や意図、内容について、生徒にわかりやすく説明し、理解できるように促します。
- 2 指導者を対象とする研修会に参加したり、競技種目の専門家の意見を聞いたりするなどして、科学

的・合理的な指導方法や活動計画を積極的に学ぶように努めます。

- 3 学期に 1 回程度の顧問会議を開催し、意見交換や情報共有を進め、部活動全体としての組織的な協力体制を向上させます。
- 4 体罰等、生徒への心身を傷つけるようなことは絶対にしません。また、部内におけるいじめの早期発見・早期対応に取り組みます。

家庭との連携

- 1 顧問より、文書または学校ホームページ等を通して、本校の部活動の目的や計画、練習等についてお伝えします。保護者の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。
- 2 家庭での規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けるとともに、栄養のバランスのとれた食事や十分な睡眠時間などの体調管理をお願いいたします。

2 設置されている部活動

【運動部】

野球(男女)、サッカー(男女)、卓球(男女)、男子バレーボール、女子バレーボール
男子バスケットボール、女子バスケットボール

【文化部】

音楽(男女)、家庭科(男女)、文芸(男女)、パソコン(男女)

3 休養日と活動時間

【休養日】

(1) 学期中は、週当たり 2 日以上 of 休養日を設けます。(平日は少なくとも 1 日、土曜日及び日曜日(以下「週末」という。)は少なくとも 1 日以上を休養日とします。また、週末に大会や発表会への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替えます。なお、振り替える際には、週間、月間等で活動頻度を確認するなどバランスを考慮します。)

(2) 上記(1)の他、休養日として設定していた日に活動が必要となった場合、生徒及び保護者からの理解を得られる範囲で他の日に代わりの休養日を設定したうえで、校長へ書面により申請します。校長は、生徒のバランスのとれた生活に支障がない範囲であるとの判断のもと承認します。

(3) 長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行います。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設けます。(例えば、夏季休業中などに連続して一週間程度の休養期間を設ける等)

【活動時間】

1 日の活動時間は、長くとも平日では 2 時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は 3 時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行います。なお、活動時間には準備、片付けや移動の時間は含まませんが、安全に留意し短時間で行えるように工夫します。